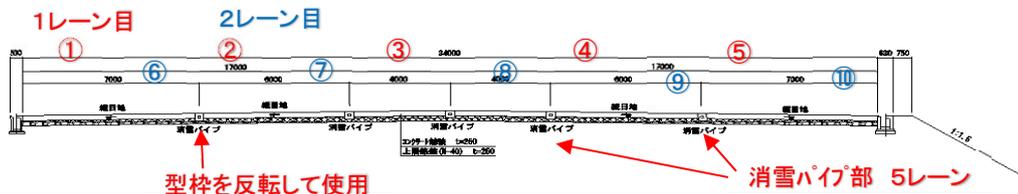


1	表題(課題)名	駐車場における消雪設備を伴うコンクリート舗装の施工管理
2	工事(業務)名	阿賀野バイパス道路休憩施設駐車場舗装工事
3	受注者名	大成ロテック株式会社 北信越支社
4	工期	令和3年11月1日～令和5年2月28日
5	担当技術者(立場)名	現場代理人 (おかむら みちぞう) 岡村 道三
6	担当主任監督(調査)員	専門調査官
7	課題区分名	⑤施工管理
8	工事(業務)概要	道の駅あがの駐車場のコンクリート舗装を施工した

9 【施工における 課題・問題点 等】

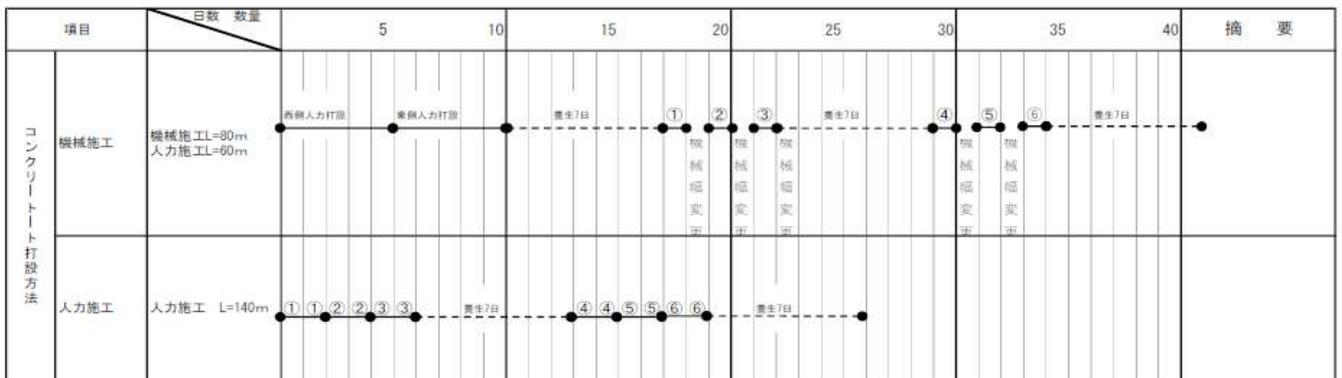
本工事は、消雪設備設置に伴い、コンクリート打設箇所に縦目地部と消雪パイプの配管の溝部分が発生し、施工する幅員も3.0m 3.5m 4.0mと3種類あり 機械施工では組み換え作業の増加により施工日数が増えることが課題となった。



10 【実施内容】

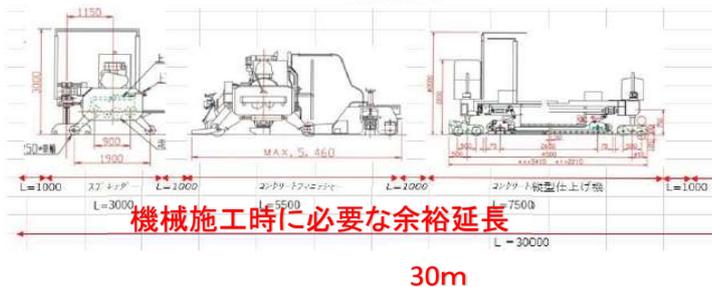
- ① 機械施工と人力施工による打設の比較工程を作成し、より工程を短くなる方を選択する。

Co打設比較工程表



11 【実施結果】

工程を再検討した結果 6レーンで比較だが機械施工より人力施工の方が 実日数15日短くなることになった。 機械施工時に必要だった機械の稼働30m分の余裕区間も必要なく人力打設により ギリギリの部分まで打設が可能になり、隣接する作業との調整も安易に応じられた。



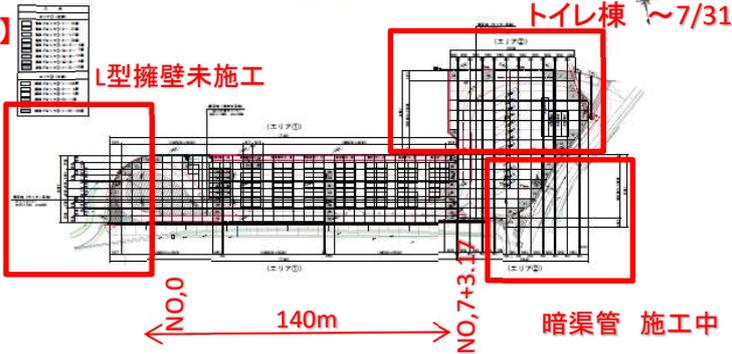
機械施工 延長80m/日【注1】  
 余裕延長 30×2=60m  
 人力施工 延長60m/日  
 余裕延長 5×2=10m

30m

(様式—2)

【実施内容等】

【注1】



機械施工が80mの理由

現場状況により 機械施工の延長は80mが限度であった

建築足場があっても打設可能 隣接工事との調整が容易

人力簡易舗装での打設状況



第1回目のレーンでの打設完了



第2回目のレーンでの打設完了時に消雪設備の溝ができる



消雪パイプ部分を配管 コンクリート打設



完了

